

## 『レプリコンワクチン』

2024年10月から表題にある「レプリコンワクチン」の接種が始まります。新聞やテレビで取り扱われない話題ですが、ネット界隈では話題になっています。それも悪い方での話題です。

YouTubeでは現役の国会議員である原口一博氏や山本太郎氏などが危険性を訴えています。

SNSでも医師が危険性を訴えており、この「レプリコンワクチン」を接種した人の来院を禁止する文言をクリニックのホームページに明記したりなど、以前の新型コロナウイルスワクチンの時では考えられないくらいはつきりと危険だと考えています。

また、「一般社団法人日本看護倫理学会」がそのホームページの「声明・意見」のページに「新型コロナウイルス感染症予防接種に導入されるレプリコンワクチンへの懸念

自分と周りの人々のために」という表題でPDFファイルで『懸念』を表明しています。このPDFファイルではレプリコンワクチンの開発会社の名前も上がっていますし、(Meiji seika ファルマ株式会社は製造・販売です)このワクチンの国際的な受け止められ方や健康への懸念点などが分かりやすくまとめられているので、ぜひこちらをお読みいただきたいと思えます。

一般社団法人 日本看護倫理学会  
The Japan Nursing Ethics Association

学会について 刊行物 声明・意見 年次大会 研修会・セミナー 研究助成 入会案内 お問い合わせ

### 声明・意見

- 2024.08.08 【緊急声明】新型コロナウイルス感染症予防接種に導入されるレプリコンワクチンへの懸念 自分と周りの人々のために(PDF)
- 2021.12.032021年度医療従事者に向けたCOVID19活動実態調査結果(PDF)
- 2020.11.16今後の看護倫理に関わる課題への取り組み方についてのご提案(PDF)
- 2020.05.21COVID-19蔓延状況における医療・介護に関する緊急調査 第2報 -自由回答の結果(PDF)
- 2020.05.11日本看護学会緊急調査結果速報(PDF)
- 2020.04.02新型コロナウイルスと闘う医療従事者に敬意を(PDF)
- 2019.01.07認定看護師教育基準カリキュラムの共通科目「看護倫理」の名称変更に対する声明(PDF)
- 2011.06.28特定看護師(仮称)に関する日本看護倫理学会の見解(PDF)

まとまった内容ですが、興味を持っていただくために簡単に内容を紹介していきます。

- ① 開発国 アメリカ
  - ② 開発会社 Arcurus Therapeutics
  - ③ 大規模治験国 ベトナム
  - ④ 認可された国 日本のみ
  - ⑤ 製造・販売 Meiji Seikaファルマ株式会社
  - ⑥ 問題点
- (ア) 開発国や先行治験国で認可されていない  
(イ) シエディングの問題  
(※あとで説明します)
- (ウ) 将来の安全性に関する問題  
(エ) インフォームドコンセント(説明を受け、納得した上での合意)の問題  
(オ) 接種勧奨と同調圧力の問題

などが大まかな内容です。

※シエディングとは  
シエディングの「shed」は流す、こぼす、脱ぎ捨てる、放つ、**あたりに及ぼす**などの意味です。

なので、mRNA ワクチンについて使用される場合は『**接種者から体外に呼気や汗、排泄物などから分泌された、スパイクタンパクの mRNA あるいは DNA を含むエクソソームが、周囲のワクチン未接種者の体内に侵入すること**』という内容になります。

レプリコンワクチンが特に危険視されるのは従来の mRNA ワクチンの増殖力を強力にして体内で増産し続けるように作られたもので、この増殖を制御するブレーキは無く、ワクチンは一度体内にはいると、mRNA が増殖されつづけるためです。

レプリコンワクチンについてはインターネット検索すると色々な人が意見を言っているので、ぜひご自分でも検索して見て下さい。特に政治家や医師が名前を公表して意見を言っているものを参考にしてください。